

クラウドファンディングにご協力ください！ 目標金額 100 万円



パンプキン爆弾 (ロス・アラモス国立研究所提供)

模擬原爆パンプキン 探索プロジェクト

プロジェクト第1弾
科学の力でパンプキンに迫る

募集期間：2024年7月1日～8月29日
支援サイト：<https://readyfor.jp/projects/pumpkin1945-2024>



パンプキン爆弾とは

パンプキン爆弾は、長崎に投下された原爆ファット・マンと同形・同重量の爆弾で、主に広島・長崎の原爆投下に先立つ原爆投下訓練のために使われた 10000 ポンド高性能爆弾で、模擬原爆とも言われています。1945年（昭和20年）7月20日から8月14日の間に、日本本土に49発投下されました。そのうち46発については着弾地が明らかになっています。

プロジェクトの目的

着弾地不明のパンプキン爆弾3発のうち、神戸に投下されたパンプキンについて西岡孔貴氏（神戸大学大学院）が、摩耶山山中に着弾地の可能性のある場所を見つけました。私たちはそこで採集した金属片がパンプキン爆弾の破片かどうかを調べたいと考えています。そのことを金属片の組成分析によって確かめる予定です。パンプキン爆弾、通常爆弾、摩耶山山中で採集した金属片、それぞれ2個、合計6個を顕微鏡による組織観察、ICP試験による組成分析、EPMA試験による塗膜分析を行います。



有田市（和歌山県）山中で採集したパンプキンの破片

これまでの活動

私たちは、これまで以下のような活動を行いました。

- ①2023年（令和5年）12月6日、神戸摩耶山山中で金属探知機を用いた調査を行い爆弾の破片と思われる8個の金属片を採集しました。
- ②2024年（令和6年）2月16-18日、パンプキンの着弾地である和歌山県有田市山中で土地所有者の許可を得て調査を行い、約50個のパンプキンの破片を採集しました。
- ③3月2日、八王子市犬目山の500発通常爆弾の着弾地で、9個の破片を採集しました。
- ④専門の業者と相談し、パンプキン、通常爆弾、神戸摩耶山の破片それぞれ2個について組成分析に用いるサンプルを選びました。

プロジェクトの展望

今回のプロジェクトは、戦後80年に向けたパンプキン爆弾の調査・記録プロジェクトの第一歩です。今回の進捗次第で、「次なるプロジェクト」につながる事が期待されます。

支援金額とリターン

3000円	お礼メール
5000円	オンライン報告会へのご招待
10000円	オンライン報告会へのご招待に加えてパンプキン組成分析報告書を進呈します。
30000円	
50000円	
100000円	

キックオフイベント：7月20日 20:00-21:30

パンプキン爆弾を調査する会

共同代表 藍原寛子、工藤洋三、西岡孔貴 e-mail: pumpkin1945@gmail.com
銀行振込を希望される場合：山口銀行徳山支店（普通）5198902 パンプキン爆弾を調査する会
ゆうちょ口座を希望される場合：口座番号 01510-1-7343 加入者名：工藤洋三

<https://pumpkin1945.com/>



キックオフイベント
登録サイトへ

組成分析依頼試料の概要

No.	種別	記号	質量、寸法など	採取地や提供者	画像	特記事項
1	パンプキン	F-7	130g 長軸 83.1mm	2024年2月16日、 和歌山県初島で採集		顕微鏡による組織観察 ICP 分析
2		T-1	148g 長軸 98.4mm	農米製造所跡より採集。 金子力氏提供		顕微鏡による組織観察 ICP 分析
3	500 ^円 通常爆弾	H-1	550g 長軸 175mm	2024年3月2日、 八王子市犬目町で採集		顕微鏡による組織観察 ICP 分析
4		Is-1	883g 長軸 149mm	伊勢空襲の爆弾破片。 山本達也氏提供。		顕微鏡による組織観察 ICP 分析
5	神戸	KP-1	1444g 長軸 202mm	2023年12月6日 神戸市摩訶岡山山中で採集		顕微鏡による組織観察 ICP 分析
6		KA-5	1157g 長軸 213mm			顕微鏡による組織観察 ICP 分析
7	パンプキン	F-10	1765g 長軸 220mm	2024年2月17日、 和歌山県初島で採集		塗膜の可能性のある 部分を EPMA 分析。